

令和 5 年度

事業報告  
決算報告

赤十字は、動いてる!

SAVE365

日本赤十字社は、皆さまのご支援で、  
365 日活動を続けています。

— 目 次 —

令和 5 年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	.....	2
2	赤十字講習の充実	.....	8
3	青少年赤十字の育成	.....	11
4	国際活動の推進	.....	13
5	救護看護師の養成	.....	14
6	血液事業の推進	.....	14
7	赤十字ボランティアの育成	.....	15
8	効果的な広報活動の展開	.....	23
9	活動資金の募集及び表彰制度	.....	24
10	奈良県支部有功会	.....	26

令和 5 年度 一般会計決算報告

1	令和 5 年度 一般会計決算報告	.....	27
2	令和 5 年度 会費収入	.....	28

参考資料

1	令和 5 年度 一般会費及び法人会費収納実績表・・・	29
2	令和 5 年度 火災・水害等による救援物資配布・ 弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況・・・	30
3	令和 5 年度 市町村別講習一覧	..... 31

# 令和 5 年度 事業報告

## I 災害救護体制の強化 -災害からいのちを守る-

令和 6 年 1 月 1 日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード 7.6 最大震度 7 の地震は、石川県を中心として大きな被害をもたらしました。

日本赤十字社は、地震発生直後から、全国各支部の救護班(DMAT を含む)、日赤災害医療コーディネーターチーム、支部支援要員を石川県に派遣し、現地での情報収集や避難所での診療、アセスメントなどの救護活動を実施しました。

当奈良県支部でも、公的医療機関の協力のもと、順次、救護班を派遣し、被災者支援に取り組んでまいりました。

また、近年では、大雨や台風による災害等も頻発しており、近い将来には、南海トラフ地震の発生が危惧されています。

このため、災害に備え、救護班の編成を行っており、救護体制の充実強化を図るため、訓練や研修の実施、救護資機材の整備に重点的に取り組みました。



～出発式～



▲令和6年能登半島地震での救護活動  
～避難所での診療活動～



～こころのケア活動～

### (1) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名称	班数	備考(委託契約締結日)
奈良県総合医療センター	2班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締結 (地方独立行政法人 奈良県立病院機構)
奈良県西和医療センター	2班	
南奈良総合医療センター	1 班	平成 28 年 4 月 20 日委託契約締結
市立奈良病院	1 班	平成 26 年 4 月 1 日委託契約締結
大和高田市立病院	1 班	平成 26 年 9 月 1 日委託契約締結
奈良県立医科大学附属病院	1 班	平成 28 年 11 月 1 日委託契約締結
合計	8 班	

※1 班の体制: 医師 1 名・看護師 3 名・主事 1 名・調整員 1 名 計 6 名

## (2) 救護訓練

大災害に備え、各種救護訓練に参加しました。

主催		実施日	訓練名称	会場	支部参加者 (参加総数)
赤十字	奈良県支部	6月17日	第4ブロック(近畿) 合同災害救護訓練	兵庫県支部 他	25名 (509名)
行政	奈良県	10月22日	奈良県防災総合訓練	吉野運動公園	21名 (1,000名)



▲第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練

～避難所での巡回診療～



～防災ボランティアによる物資搬送～



▲県防災総合訓練

～避難所での巡回診療～

## (3) 日赤災害医療コーディネーター及びスタッフの登録

県内の災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付ける医療チームを効果的に調整することを目的に登録を行っています。

### 【医療コーディネーター・スタッフ一覧】

	南奈良総合 医療センター	奈良県立医科 大学附属病院	北和在宅救急 クリニック	奈良県総合 リハビリテーションセンター
コーディネーター (医師)		福島 英賢 浅井 英樹	關 匡彦	
スタッフ (看護師)	高山 良光 福塚 一代	南田 哲平		
スタッフ (薬剤師)	藤井 瑞基	松井 俊典 岡田 和也		西島 正人
スタッフ (主事)		植田 真弘		

※医療コーディネーターチームは、医師・看護師・薬剤師・主事(事務職員等)で編成し、各支部3チーム以上置くことになっております。

※支部職員2名が主事として登録しています。

## (4) 救護体制強化のための研修

救護班等の知識と技術の向上を図るため、研修会に参加しました。

月日	研修名称		主催	参加人数
	内容			
5 13	支部救護班基礎研修会		奈良県支部	32名
	・赤十字の災害救護活動 ・災害医療体系的アプローチ ・避難所アセスメント			
7 8・ 9	日赤災害医療コーディネーター研修会		本社	1名 (奈良県立医科大学附属病院 1名)
	・日赤災害医療コーディネーターにおける各段階での役割 ・支部での医療コーディネーター活動 ・平時における役割と準備			

9	2・3	防災ボランティアリーダー養成研修会	本社 (WEB)	2名 〔 支部職員 1名 無線・救護赤十字奉仕団 1名 〕
		・日本赤十字社のボランティア活動について ・防災ボランティアリーダーとしての役割・業務 ・災害時のボランティア活動における安全管理		
10	26	災害ケースマネジメントに関する地方公共団体及び関係民間団体向け研修会	内閣府 兵庫県 奈良県 (WEB)	1名 (支部職員 1名)
		・災害ケースマネジメントの概要 ・災害ケースマネジメントの必要性 ・近年における災害ケースマネジメントの事例紹介		



▲支部救護班基礎研修会

### (5) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材・救援物資の整備を行いました。

(令和4年度から令和6年度までの3カ年計画)

【令和5年度に新たに整備した主なもの】

品名	型式等	数量	品名	型式等	数量
可搬型無線機	ケンウッド製 150MHz	1台	災害救援車	日産キャラバン	1台
可搬型無線機	ケンウッド製 400MHz	1台	災害救援車 (地区分区)	ダイハツハイゼット	5台
車載型無線機更新	アルファード、トラック 救急車 150MHz	3台	AED 本体 (地区分区)	IPAD CU-SPR	11台
車載型無線機更新	アルファード 400MHz	1台	蓄電池 (地区分区)	2kw 太陽光パネル付	27台
救護員用 T シャツ	S・M・L・LL・EL	120着	救護員教材 AED トレーナー	AED トレーナー II	9台
救護員教材 蘇生法人体モデル	全身	2体	救護員教材 蘇生法人体モデル	半身(4体入)	7セット



▲災害救援車



▲災害救援車(地区分区)



▲蓄電池(地区分区)

① 救護資機材の整備

【奈良県支部】※( )の数字は令和5年度に整備したもの

品名		数量	品名		数量
救護班 装備品	医療資機材携行用鞆(1セット4バック)	7	救護所 資機材	大型フレームテント	1
	救護班要員携行バック	30		エアertent(大型:ハイブリット式)	2
	大型救急箱	5		エアertent(小)	1
	パルスオキシメーター	9		組立式テント	6
	電子体温計(非接触体温計含む)	23		ワンタッチテント(大3・小4)	7
	ターニケット(止血帯)	50		プライベートテント	1
	自動体外式除細動器(AED)	3		間仕切り用プラテーション(2種類)	30
救護班要員 装備品	救護服:上下	196		簡易トイレ(ラップボン)	11
	ヘルメット	30		簡易トイレ用ワンタッチテント	12
	救護服:雨衣	30		自家発電機(ガソリンタイプ)	6
	救護服:防寒衣	30		蓄電池	1
	救護服:Tシャツ	140(120)		投光器	5
	防護メガネ	20		誘導灯	5
	救護員手袋	80		冷暖房機器 (冷暖房器:2、暖房器:1、冷房器:3)	6
	LEDヘッドライト	10		診察台	8
	懐中電灯	10		折畳式寝台	80
	ペンライト(ホルダー付)	30		簡易ベッド	6
	寝袋	50		傷病者用毛布	70
	万能ハサミ	20		スクープストレッチャー	3
	ホイッスル	50		担架	8
非常食(支部 救護班用)	アルファ米	149		担架架台	6
	パン	87		組立式点滴架台	1
	ドライスープ(2種)	96		電動吸引機	1
	惣菜(3種)	64		LEDランタン	9
	携帯おにぎり	100		拡声器	3
	水(500ml)	960		リヤカー(大・小)	各1
	ようかん(5本入)	10		レスキューカー	2
			フォークリフト	1	
資機材 原子力対応	空間線量率測定用サーベイメータ	1	移動炊飯器	8	
	防護服セット	6	通信 機器	業務用無線基地局(150MHz-400MHz)	2
	デジタル個人線量計	7		業務用無線陸上移動局(車載機)(〃)	7(4)
支援要員 資材	ボランティアユニフォーム	40		業務用無線陸上移動局(携帯機)(〃)	9
	ボランティア反射チョッキ	50		業務用無線現地基地局(可搬型)(〃)	2(2)
	ボランティア帽子	50		アマチュア無線局	1
	防寒衣	59		室外設置用外部アンテナ(衛星携帯電話用)	3
	雨衣(白色・黄色)	50		デジタル通信システム (D-STARレピーター)	2
車両 災害救護	災害通信指揮車(衛星電話搭載)	1		特定小電力トランシーバー	10
	救急車	1		携帯電話	1
	災害救援車	5(1)		データ通信端末	1
	救護資機材運搬トラック	1		デジタルカメラ	3
教材 救護員	AEDトレーナー	19(9)		災害用PC・タブレット	3
	蘇生法教育人体モデル(全身)	6(2)		災害用テレビモニター	1
	蘇生法教育人体モデル(半身・4体入)	7(7)		衛星携帯電話	3

【地区区分(市町村)】※( )の数字は令和5年度に整備したものの

品名	数量	品名	数量
災害救援車	59(5)	ワンタッチテント(大)	24
移動炊飯器	52	自動体外式除細動器(AED)	30(11)
発電機:ガソリンタイプ 1600W	22	発電機:ガソリンタイプ 900W	3
LED 投光機:スタンドタイプ	36	発電機:プロパンタイプ 850W	11
組立式トイレ(車いす対応)	19	蓄電池(2kw・太陽光パネル付)	27(27)

## ② 救援物資の備蓄、配付状況

○備蓄状況(支部・地区区分において備蓄)

毛布	緊急セット	安眠セット	布団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット
3,080枚	1,351セット	1,127セット	415組	1,180枚	739枚	1,505枚

○救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テント	A E D
件数	3件	—	8件

○火災による救援物資の配付・弔慰金の支給

【救援物資の配布】

世帯数	19世帯	毛布	緊急セット	布団	バスタオル	安眠セット	ブルーシート	タオルケット
人数	46人	37枚	18セット	33組	33枚	0セット	3枚	12枚

【弔慰金の支給】

人数	金額
8人	160,000円



▲毛布



▲安眠セット



▲緊急セット

## (6) 災害時物資支援協定の締結

大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは十分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。



▲(株)八百彦商店との物資支援協定  
(H26.2.11 締結)



▲一般社団法人奈良県LPガス協会との物資支援協定(H29.1.23 締結)



▲板倉石油(株)との物資支援協定  
(H29.10.25 締結)

(7) 救急箱の整備

昭和 37 年から県民の方々や観光客等がけがをされた際に、交番や駐在所においても簡易な応急手当ができるように救急箱の設置及び薬品の更新を隔年で行っています。

令和 5 年度は 155 カ所の県内交番及び駐在所に救急箱薬品を贈呈しました。



▲救急箱薬品の贈呈式

(8) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また、同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々に各市町村からお届けされます。

【令和 5 年度受付実績】

(単位:円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
令和5年5月能登地方地震災害義援金	20	199,037	令和5年9月29日	0
令和5年台風第2号大雨災害義援金	14	158,643	令和5年9月30日	0
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	24	684,279	令和5年12月29日	0
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	37	903,615	令和6年3月29日	0
令和5年台風第6号災害義援金	13	631,263	令和5年11月30日	0
令和5年台風第13号災害義援金	18	681,202	令和5年12月31日	0
令和6年能登半島地震災害義援金	1,192	138,463,108	令和6年12月27日	0
合計	1,318	141,721,147		0



▲奈良商工高等学校



▲郡山高等学校



▲奈良学園中学校高等学校



▲添上高等学校



▲育英中学校



▲法隆寺国際高等学校

## 2 赤十字講習の充実 -いざという時に備えて-

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。令和5年度は、県内各地で239回開催し、延べ6,438人の方に受講いただきました。

### (1) 地区区分と共催による地域での講習会

県内全体での講習普及を目的に、地区区分と共催による地域での講習に取り組みました。

月日	講習内容	実施場所	参加人数
11 19	災害時要配慮者生活支援講習 ・災害時の備え ・身近なものを使った手当 ・ホットタオル、毛布ガウンのしかた	十津川村特別老人ホーム 高森の郷	14人
R6 2 17	救急法基礎講習 ・心肺蘇生法 ・AEDの使用法 ・気道遺物除去 など	三郷町文化センター	11人
3 17	救急法基礎講習 ・心肺蘇生法 ・AEDの使用法 ・気道遺物除去 など	トーク安堵カルチャーセンター	9人



▲地区区分と共催による地域での講習  
～十津川村区分～



～三郷町区分～

### (2) 金色有功章受章企業を対象とした講習会

金色有功章を受章した企業を対象に無料体験講座を実施しました。

月日	講習内容	実施場所	参加人数
R6 2 21	救急法短期講習 ・心肺蘇生とAEDの使い方	ナカガワセンチュリ記念館	17人



▲金色有功章受章企業を対象とした無料体験講座(株ナカガワ)



(3) 防災・減災のための講習会

- ① 地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県内各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2時間以上	22回	653人
災害時要配慮者生活支援講習			
防災セミナー	適宜	22回	711人
計		44回	1,364人



▲災害時要配慮者生活支援講習

～非常食づくり～



～ハンドマッサージ～

- ② 防災教育指導者を育成するため、防災教育事業指導者研修会への参加と、支部主催で養成研修を実施しました。

月日	研修名・内容	実施場所/主催	参加対象及び人数
4 28	防災教育事業主任指導者研修会 ・防災教育事業指導者フォローアップ研修の概要 ・赤十字防災セミナーの新規カリキュラム追加情報	支部(WEB)/ 本社主催	防災教育事業指導者 1人
9 7・ 8	防災教育事業指導者フォローアップ研修会 ・「家具安全対策ゲーム(KAG)」の指導要領伝達 ・新規カリキュラムの指導要領伝達 ・支部職員からの事例紹介と意見交換	大阪府支部/ 本社主催	防災教育事業指導者 支部職員 2人
11 10・ 11	防災教育事業指導者養成研修会 ・日本赤十字社が実施する防災教育事業について ・防災教育事業指導者について ・災害への備え ・災害エスノグラフィ ・災害図上訓練(DIG)	支部/ 支部主催	ボランティア 支部職員 7人
2 20・ 23	防災教育事業指導者伝達研修会 ・「家具安全対策ゲーム(KAG)」の指導要領伝達 ・「ひなんしょたいけん」の指導要領伝達	支部/ 支部主催	ボランティア 14人



▲赤十字防災啓発プログラム



▲防災教育指導者フォローアップ研修



▲防災教育事業指導者養成研修会

- ③ 檀原市地区において、「自治委員連合会防災訓練」を実施しました。檀原市自治委員、檀原市職員など約 250 名が参加し、ラップやナイロン袋などの身近なものを使った応急手当などを体験しました。



▲檀原市地区自治委員連合会防災訓練

#### (4) 救急法等の講習会

##### ① 救急法

心肺蘇生やAEDの使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4時間	17回	224人
救急員養成講習	12時間	11回	177人
短期講習	2時間以上	105回	2,840人
指導員養成講習	30時間	—	—
計		133回	3,241人



▲基礎講習

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能になります。

##### ② 水上安全法

身近なものを使った応急手当や着衣泳(服を着たまま溺れた場合の対処方法)講習などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成 I 講習	14時間	1回	14人
短期講習	2時間以上	25回	1,373人
指導員養成講習(ブロック合同)	30時間	—	—
計		26回	1,387人



▲救助員養成 I 講習

##### ③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などの講習や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間	2回	39人
短期講習	2時間以上	36回	1,034人
指導員養成講習	30時間	—	—
計		38回	1,073人



▲支援員養成講習

#### ④ 幼児安全法

乳幼児に対しての救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などの講習を実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間	4回	58人
短期講習	2時間以上	38回	679人
指導員養成講習	30時間	1回	5人
計		43回	742人



▲支援員養成講習

### 3 青少年赤十字の育成 -思いやりを育む-

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

#### (1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
加盟校	28校	73校	21校	10校	132校

#### (2) 青少年赤十字防災教育の推進

青少年の健康と安全を守り、学校や地域、家庭での防災意識の向上を目的に、青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」(小・中・高校生向き)や「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」(幼稚園・保育所向き)の教材を活用した防災セミナーなどを随時開催しました。

##### 【教職員等を対象とした防災教育の開催状況】

月日	講習内容	場所	参加対象及び人数
5月23・25日	奈良市教職員研修講座 ・防災教育の基本的な考え方	奈良市教育センター 他	奈良市小学校初任者 29人
6月6日	奈良市教職員研修講座 ・防災教育の基本的な考え方	奈良市教育センター	奈良市中学校初任者 20人
7月6日	学校事務スキルアップ研修講座 ・学校が避難所になったときの運営方法	奈良県立教育研究所	小・中学校事務職員 20人
8月28日	避難所運営ゲーム HUG ・避難所運営の疑似体験	福住中学校	教職員 18人
8月22日	防災教育研修講座 ・災害の基礎知識と災害への備え ・地域防災と避難所運営	奈良県立教育研究所	県内の教職員 (小学校・中学校・高等学校・特別支援学校) 34人

### (3) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
五條市立 五條小学校	防災頭巾を作ろう	190人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全校で地震から火災を想定した避難訓練を2回実施。</li> <li>●「防災」出前授業を実施し、避難バックに入れる必要なものについて考えた。</li> <li>●防災頭巾のほつれや破れた部分をミシンで補正した。</li> </ul>
平群町立 平群中学校	花植えボランティア	100人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒、保護者、地域住民と一緒に学校敷地内や近隣の花壇の整備、花植え、剪定、清掃を行った。</li> <li>●生徒会が中心となって行った花植えボランティア活動は、多くの生徒が自主的に参加し、積極的に清掃に取り組み、自分たちの学校が綺麗になったことへの喜びを実感した。</li> </ul>



▲防災頭巾を作るようす～五條市立五條小学校～



▲花壇の整備～平群中学校～



### (4) 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
6	1 奈良県青少年赤十字指導者協議会	支部	リーダーシップ・トレーニング・センター開催内容検討	3人
	30 全国青少年赤十字全国指導者協議会・総会	東京都	役員改選 令和4年度事業報告 令和5年度取り組み	1人
8	3・4 県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市	赤十字・ボランティアについて 救急法・フィールドワーク	52人
R6 1	12 青少年赤十字研究会	東京都	講演「青少年赤十字の現状とこれから」 グループディスカッション	1人
	28 兵庫県青少年赤十字研究会	WEB	青少年赤十字研究推進校(4校)の活動報告	1人



～集合写真～



▲県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター  
～新聞タワー(防災講習)～



～身近なものを使った応急手当～

## 4 国際活動の推進 –世界とつながる–

世界191の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。



▲イスラエル・ガザ  
死傷者を避難させるICRCと  
パレスチナ赤新月社

### (1) 支部の国際活動への参加

バングラデシュ保健医療支援事業に資金協力をしました。

### (2) 海外救援金の受付

【令和5年度受付実績】

(単位:円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
中東人道危機救援金	5	5,700	令和7年3月31日	193,164
バングラデシュ南部避難民救援金	5	5,700	令和7年3月31日	71,432
アフガニスタン人道危機救援金	5	5,700	令和7年3月31日	27,244
ウクライナ人道危機救援金	138	4,149,792	令和7年3月31日	31,461,774
2023年トルコ・シリア地震救援金	125	3,250,430	令和5年5月31日	7,076,386
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	9	297,273	令和5年10月31日	0
2023年モロッコ地震救援金	4	43,775	令和5年11月30日	0
2023年アフガニスタン地震救援金	4	29,404	令和5年12月29日	0
イスラエル・ガザ人道危機救援金	15	248,419	令和6年9月30日	0
2023年リビア洪水救援金	4	37,325	令和5年11月30日	0
合計	314	8,073,518		38,830,000

### (3) NHK海外たすけあいの受付

【令和5年度受付実績】

(単位:円)

受付窓口	件数等	金額	備考
日赤奈良県支部	78	345,899	南都銀行、農協の振込を含む
NHK奈良放送局	26	401,851	奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・生駒市・香芝市・生駒郡・磯城郡の地区奉仕団が協力
街頭募金	13カ所	402,686	地域奉仕団、青年奉仕団が県内各地で実施
ゆうちょ銀行	450	6,272,558	県民から本社への振込
合計		7,422,994	



▲奈良市地区赤十字奉仕団  
～針テラス～



▲桜井市赤十字奉仕団  
～近鉄桜井駅～



▲王寺町赤十字奉仕団  
～JR王寺駅～

#### (4) 赤十字思想の普及・啓発

本社、第4ブロック(近畿)主催の国際人道法セミナーに参加しました。

月日	内容	開催場所/主催	参加人数
R6 2 15. 16	・国際人道法の普及と課題 ・国際人道法を取り巻く世界の動向と日本政府の関わり ・赤十字運動における核兵器廃絶の動き	支部(WEB)/本社主催	1人

### 5 救護看護師の養成 -国内外で活躍できる看護師を-

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、京都第二赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。

奈良県支部では、これまでに40名の看護師を養成しています。

(平成22年度まで和歌山、平成23年度から令和2年度まで大阪、令和3年度から京都第二)



▲戴帽式



▲看護体験学習

### 6 血液事業の推進 -献血にご協力を!!-

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。

- (1) 愛の血液助け合い運動(7月~8月)、全国学生クリスマス献血キャンペーン(12月)、はたちの献血キャンペーン(1月~2月)、バレンタイン献血(2月)、近畿統一キャンペーン(3月)等を実施しました。
- (2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。
  - ・献血セミナー
  - ・学内献血
  - ・献血まるわかりゼミ
- (3) 献血推進の広報活動を行いました。(新聞広告掲出:県有功会)
  - ・愛の血液助け合い運動
  - ・はたちの献血キャンペーン



▲学生献血推進協議会  
(近畿統一キャンペーン)



▲全国学生クリスマス献血キャンペーン



▲若年層献血  
(天理大学ラグビー部)

## 7 赤十字ボランティアの育成 -活動を支える-

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただいております。また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダー的存在であるため、その活動を積極的に支援しました。

### (1) 地域赤十字奉仕団(団数及び団員数:39 団、2,605 名)昭和 23 年発足

- ・市町村の地域ごとに結成され、地域単位で活動するために組織された奉仕団です。
- ・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病療養所の訪問(岡山県)と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。
- ・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンキャンペーンへの参加、NHK海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。

#### ① 「地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業」

地域赤十字奉仕団(分団)の活動を促進し、赤十字活動に対する県民の理解を深め、健康で安心に暮らせる共同社会の構築に寄与するため、奉仕活動に助成金を交付しました。

奉仕団名	事業名	内容
奈良市地区赤十字奉仕団 大宮分団	みんなで夕食会 大宮	一人暮らしや夫婦だけの高齢者が月に一度集まり、にぎやかに食事をするにより、高齢者の引きこもり防止と健康維持を目的に開催した。
	いきいき歌声サロン大宮	孤立する地域の高齢者がひきこもることなく仲間・居場所づくりが出来る場の提供と、歌うことによる介護予防と健康増進を図ることを目的に開催した。
	ポッチャをやって楽しむ!大宮	障害の有無、年齢に関係なく、レクレーションとして気軽に楽しめるスポーツ「ポッチャ」を通じて、幅広い世代に赤十字活動の普及啓発を行った。
奈良市地区赤十字奉仕団 左京分団	おきがる食事会	地域の子供たちの「ふれあいの場」「居場所づくり」を目的に小さな子供から高齢者の方まで幅広く交流し、食事を通して絆を深めることを目的に開催した。
安堵町赤十字奉仕団	出前防災講習会	講習会を開催しても、出かけられない高齢者が多いのが現状で、町内の各自治会、公民館へ出向き、より多くの方を対象に、防災への知識を持ってもらうために、講習会を開催した。



～みんなで夕食会～



▲奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団  
～いきいき歌声サロン～



～ポッチャで楽しもう!～



▲安堵町赤十字奉仕団  
～出前防災講習会～



② 地域奉仕団員の知識と技術を身につけるため、研修会や講習会を開催しました。  
(地域奉仕団研修会 7月21日:奈良市)



～開会式～



▲地域奉仕団研修会  
～家具安全対策ゲーム(KAG)～



～新聞カバー～

③ ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県出身者の方との交流を行いました。  
(4月5日:岡山県瀬戸内市)



▲ふれあい交流会



▲納骨堂参拝



▲歴史資料館見学

④ 講習普及活動、献血協力の呼びかけや、クリーンアップキャンペーンに参加しました。  
(クリーンアップならキャンペーン 9月2日:県内10市町村 延べ75人参加)



▲防災講習普及活動 ～香芝市赤十字奉仕団～



- ⑤ 地域内での「法人会費」や「災害義援金」や「海外救援金」、「NHK海外たすけあい」の募集活動及びNHK奈良放送局での受付に協力しました。



▲ウクライナ人道危機救援金受取:香芝中学校  
～香芝市赤十字奉仕団～



▲能登半島地震義援金(街頭募金)  
～天理市赤十字奉仕団～

⑥ モデル奉仕団の指定

令和3年度から令和5年度の3年間、モデル奉仕団として活動しました。

奉仕団名	活動内容
大淀町赤十字奉仕団 (団員:18人)	モデル活動名:災害救護に関する活動 赤十字講習の受講、防災施設見学、炊き出し訓練の実施、十津川村赤十字奉仕団との交流、保育園で防災教育の勉強会を開催、文化祭・体育祭・避難訓練への参加、モデル活動報告書作成



▲炊き出し訓練



▲防災施設見学



▲災害時要配慮者生活支援講習

⑦ 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
4 10~ 7/25	地区委員会	県内 16地区	令和5年度支部・血液センター事業計画報告	230人
5 23・26・ 30	赤十字募金発送作業 (奈良市地区赤十字奉仕団)	支部	県内学校へ依頼する赤十字募金資材の分類、梱包作業	延べ 24人
6	1・2	本社	中央委員会常任委員改選 各ブロック奉仕団委員長の報告 分科会「赤十字奉仕団の役割と活動を考える」	1人
	28	支部	令和5年度地域奉仕団研修会について	20人
8 3・4	県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター(奈良市地区赤十字奉仕団)	奈良市	トレセン炊き出し	22人
9 15・19	赤十字フェスタ記念品梱包作業 (奈良市地区赤十字奉仕団)	支部	赤十字フェスタで配布する記念品の袋詰め	延べ 8人
10	7	大和郡山市	記念品引き換え、アンケート受付、救護服試着コーナースタッフ	15人
	22	奈良市	アイラップに炊き込み具材を入れた料理体験	17人
2 1・2・5・ 6・7	赤十字募金発送作業 (天理市赤十字奉仕団)	支部	県内学校へ依頼する赤十字募金資材の分類、梱包作業	延べ 19人
	27	支部	令和5年度事業中間報告 令和6年度事業計画	22人



▲奉仕団支部委員会



▲青少年赤十字トレセン炊き出し  
～奈良市地区赤十字奉仕団～



▲赤十字募金発送作業  
～天理市赤十字奉仕団～

## (2) 安全法指導赤十字奉仕団(団員:112名)昭和52年発足

(救急法指導員77名、水上安全法指導員23名、幼児安全法指導員26名、健康生活支援講習指導員11名)

- ・赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の指導員で組織された奉仕団です。
- ・健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習の普及に取り組みました。

### ① 講習会指導状況

区分		回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習		15回	213人	69人
養成講習	救急法	11回	177人	47人
	水上安全法	1回	14人	8人
	幼児安全法	4回	58人	19人
	健康生活支援講習	2回	39人	5人
短期講習	救急法	95回	2,678人	120人
	水上安全法	25回	1,373人	40人
	幼児安全法	34回	576人	37人
	健康生活支援講習	2回	71人	2人
災害時要配慮者生活支援講習		10回	430人	23人
計		199回	5,629人	370人

### ② 研修会、講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数	
4	総会	支部	令和4年度事業報告、会計報告 令和5年度事業計画、予算等審議	33人	
	研修会	支部	心肺蘇生及びAEDの実技統一	30人	
	29・30	幼児安全法支援員養成講習	支部	子供に起こりやすい事故の防止など(受講者14人)	9人
5	17・18	健康生活支援員養成講習	支部	高齢者の健康と安全、地域における高齢者支援など (受講者5人)	4人
	20	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者21人)	12人
	21	災害時要配慮者生活支援講習	支部	知って役立つ知識、非常食作り、応急手当 (受講者9人)	4人
	27・28	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者15人)	15人

6	10・11	水上安全法救助員Ⅰ養成講習	大和郡山市	水の事故防止、救助、応急手当など(受講者 14人)	26人
	17	第4ブロック合同災害救護訓練(本番)	兵庫県	救護所等での担架搬送など	15人
	24・25	幼児安全法支援員養成講習	支部	子供に起こりやすい事故の防止など(受講者 25人)	10人
8	20	役員会	支部	研修会、9月講習会について	8人
9	9	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用法など(受講者 17人)	9人
	16・17	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 20人)	16人
10	1	研修会	支部	防災啓発プログラムの指導実習	23人
	7	赤十字フェスタ	大和郡山市	心肺蘇生及びAED、応急手当の体験を指導	6人
	22	奈良県防災総合訓練	吉野町	救護所設営、担架搬送	4人
11	3	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用法など(受講者 8人)	11人
	4.5	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 8人)	15人
	18・19	幼児安全法支援員養成講習	支部	子供に起こりやすい事故の防止など(受講者 11人)	15人
12	16	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用法など(受講者 10人)	3人
R6 I	11・21・ 29・ 2/5・13・ 22・ 3/4	能登半島地震に伴う支部支援	支部	救護班を送り出す資機材の準備、救護班が帰還した際の資機材整理など	延べ 13人
	14	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用法など(受講者 8人)	4人
	20	役員会	支部	令和6年度総会、2月講習会について	10人
2	18	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用法など(受講者 22人)	11人
	24・25	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 25人)	12人
	27	奉仕団支部委員会	支部	令和5年度事業中間報告 令和6年度事業計画	1人
3	23	役員会	支部	令和6年度総会について	10人



▲総会



▲研修会



▲講習指導

### (3) 無線・救護赤十字奉仕団(団員:14名)昭和47年発足

平成25年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

- ・無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。
- ・災害時の活動に備え、通信訓練や救護訓練に取り組みました。

#### ① 活動・研修会等

月日	名称	場所	内容	参加人数	
4	8	第4ブロック連絡協議会	大阪市	令和4年度活動報告、令和5年度活動予定 役員改選、令和5年度第4ブロック訓練概要	3人
	22	総会	支部	令和4年度活動報告、会計報告 令和5年度活動計画、予算(案) 役員改選	6人
		無線取り扱い研修	支部	第4ブロック合同災害救護訓練のための研修	3人
6	17	第4ブロック合同災害救護訓練(本番)	兵庫県	物資搬送、通信訓練	3人
10	7	赤十字フェスタ	大和郡山市	救急車・災害救護車展示コーナースタッフ	3人
12	6	業務用無線機伝搬調査	県内各地	伝搬調査	5人
	10	奈良マラソン救護支援	奈良市	救護支援	4人
1	13・14	一泊研修会	生駒市	非常通信講習、通信訓練など	4人
	14・29・ 2/5・13・ 20・3/4	能登半島地震に伴う支部支援	支部	無線機取付作業、洗車、資機材の荷降ろしなど	延べ 13人
2	27	支部委員会	支部	令和5年度事業中間報告 令和6年度事業計画	1人
無線通信訓練		山口県(4/9・6/4)、熊本県(4/16)、山梨県(4/22)、鹿児島県(5/28)、北海道(7/16)、鳥取県(9/2)、 栃木県(9/3・1/20)、兵庫県(10/28)、和歌山県・宮崎県(11/5)、東京都(11/26)、愛知県(12/24) 神奈川県(3/23)			



▲総会



▲伝搬調査

### (4) 看護赤十字奉仕団(団員:47名)昭和48年発足

- ・看護師資格を持つメンバーで組織された奉仕団です。
- ・地域社会に貢献しようと奈良マラソン等、公共性の高い行事等で救護活動を行いました。

#### ① 救護活動回数

区分	回数	派遣人数
臨時救護	35回	65人
団体付添救護	4回	5人
計	39回	70人



▲奈良マラソンでの臨時救護



▲付添救護

(5) 青年赤十字奉仕団(団員:127名)

奈良県青年赤十字奉仕団:4名 昭和60年発足  
 近畿大学農学部赤十字奉仕団:117名 平成4年発足  
 奈良大学学生赤十字奉仕団:6名 平成24年度発足

- ・勤労青年や大学生で組織された奉仕団です。
- ・赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

① 研修会・講習会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
5	13	青年奉仕団全国協議会	(WEB) 令和4年度活動事例の共有、各支部からの協議事項、令和5年度活動スローガンの検討	1人
6	4	献血啓発活動	橿原市 献血の呼びかけ	10人
8	3・4	県青少年赤十字 リーグ・ソップ・トレーニングセンター	奈良市 トレセン運営スタッフ	4人
	12	燈花会サポート活動 (近畿大学農学部奉仕団)	奈良市 なら燈花会の点灯準備など	48人
9	18	救急法短期講習 (近畿大学農学部奉仕団)	奈良市 心肺蘇生、AED	12人
10	7	赤十字フェスタ	大和郡山市 ハートラちゃん、けんけつちゃんとの記念撮影 スタッフ	6人
	23	親子でアウトドア (近畿大学農学部奉仕団)	奈良市 工作体験のサポート	6人
12	23	NHK 海外たすけあい街頭募金 (近畿大学農学部奉仕団)	生駒市 募金活動	7人
1	13・21	能登半島地震義援金街頭募金	奈良市 募金活動	延べ11人
2	13	なら瑠璃絵	奈良市 各会場にて受付、順路案内、グッズ販売の手伝い、機材の運搬・撤収	15人
	23	青年奉仕団全国協議会	(WEB) 今年度の振り返り	1人
3	9・10	全国車いす駅伝	京都市 移動サポート等	2人



▲燈花会サポート活動

▲海外たすけあい街頭募金

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団(団員:17名)昭和39年賛助会として発足、平成14年に名称変更

- ・青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織された奉仕団です。
- ・青少年赤十字指導者やメンバーの活動を側面から支えています。

① 「防災セミナー」や「防災教室」への協力を行いました。

月日	名称	場所	内容	参加人数
5	27 防災セミナー	上牧町	災害シミュレーション	4人
	28 防災セミナー	天理市	避難所運営ゲーム(HUG)	1人
11	13 防災セミナー	五條市	おうちのきけん、災害シミュレーション	1人
R6 1	12 防災教室	桜井市	まもるいのちひろめるぼうさい(地震災害)	3人
	16 防災教室	桜井市	おうちのきけん、災害シミュレーション	4人



▲防災セミナー～上牧第二中学校～

② 研修会等

月日	名称	場所	内容	参加人数
6	1 県賛助奉仕団総会	支部	令和4年度事業報告 令和5年度事業計画	8人
7	11・12 全国賛助奉仕団総会	本社	令和4年度事業報告、会計報告 役員選任 令和5年度事業計画(案)、予算(案)	1人
8	3・4 県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市	トレセン運営スタッフ	6人
10	12・13 第4ブロック交流研修会	大阪市	情報交換、交流会、視察	1人

(7) 防災ボランティア(個人)(登録人数:18名)平成9年発足

- ・支部に個人で登録し、災害発生時における支部の救護活動を支えています。
- ・救護訓練などに参加しました。
- ・「赤十字 NEWS」発送業務に協力しました。(5月・8月・11月・2月:延べ16名)

## 8 効果的な広報活動の展開 ―活動へのご理解とご参加を―

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動に努めました。

また、大型商業施設(イオンモール大和郡山)において「赤十字フェスタ 2023 in なら」を開催し、赤十字のPR活動を行いました。

### (1) 支部の広報活動

- ① 運動月間(5月)に近鉄奈良駅前行基広場にて、啓発用横断幕を設置しました。
- ② テレビ放送(運動月間:5月及び随時放送)での広報活動を行いました。(奈良テレビ、吉野テレビ、下市テレビに継続して放送依頼)

【令和5年度テレビ放送回数(無償):令和5年5月1日~令和6年3月31日】

奈良テレビ	吉野テレビ	下市テレビ
378回	1,870回	120回

※ご協力ありがとうございました。

- ③ 広報誌「日赤なら」(5月:20万部)を配布しました。また、新聞折り込み(ウーマンライフ新聞社:5月・9月・12月)による広告掲載を行いました。
- ④ 会員等関係者へ赤十字 NEWS や会員誌「クロスコムブック」を送付しました。
- ⑤ 講習受講者に、赤十字活動をPRし活動資金への協力を依頼しました。
- ⑥ SNS(Instagram等)や WEB バナーを活用して赤十字活動やイベントの広報活動を行いました。
- ⑦ ホームページによる各種情報等を発信しました。
- ⑧ 報道機関へ、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。(随時)

### (2) 地区区分への広報活動

- ① 広報誌「日赤なら」20万部作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。
- ② 各地区区分広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。
- ③ 地区区分主催の1日赤十字などのイベントや、自治会主催の防災訓練などのイベントで「赤十字パネル展」やのぼりなどの広報資材を通じて広報PRを行いました。

### (3) 第4ブロック(近畿)合同広報活動

- ① 啓発資材(ポケットティッシュ)2万個を作成し、イベント等で配布しました。



▲啓発用横断幕



▲赤十字フェスタ 2023 in なら



## 9 活動資金の募集及び表彰制度 –活動資金にご協力を!!–

日本赤十字社は、会員の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さまのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願い、個人・法人などへのダイレクトメール(28,000通)での協力依頼、経済団体の協力を得て法人会費への依頼、遺贈による寄付の周知など、活動資金の確保に努めました。

### (1) CSR(社会貢献)実績

#### ① 寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
(株)RISING SUN	橿原市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
中造園	葛城市
道の駅ふたかみパーク當麻	葛城市
シンシアペットクリニック	三郷町



▲寄付金付自動販売機

#### ② 活動資金募金箱設置

活動資金募金箱設置先	設置場所	活動資金募金箱設置先	設置場所
インプレス	奈良市	シプレカントリークラブ	五條市
東大寺	奈良市	秋津原ゴルフクラブ	御所市
奈良中央信用金庫南奈良支店	奈良市	奈良中央信用金庫二上支店	香芝市
奈良柳生カントリークラブ	奈良市	宇陀カントリークラブ	宇陀市
医療法人厚生会奈良厚生会病院	大和郡山市	オークモントゴルフクラブ	山添村
中華料理 橘	大和郡山市	県立万葉文化館	明日香村
奈良県立医科大学(財)弘済会	橿原市	大和信用金庫	県内各支店
奈良カントリークラブ	五條市		

#### ③ 災害時物資支援協定の締結

締結先	設置場所
板倉石油(株)	奈良市
一般社団法人奈良県LPガス協会	奈良市
(株)八尾彦商店	王寺町

#### ④ 支援マークの締結

締結先	設置場所
山本松産業(株)	天理市
(株)サンシーワールド	御所市

## (2) 表彰制度

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

### ① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項目	人数	贈与対象内容
支部長表彰状・感謝状	9人	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
銀色有功章	7人	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
金色有功章	5人	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
本社感謝状	3人	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



(金色有功章:個人 左:男性 右:女性)



(金色有功章略章)



(金色有功章(法人)  
銀色有功章(個人・法人))

### ② 国の表彰制度贈与・表彰実績

項目	人数	贈与対象内容
厚生労働大臣感謝状	0人	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
紺綬褒章	1人	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等



▲紺綬褒章



## 10 奈良県支部有功会(会員数:382人)昭和41年11月結成

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴いただき、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組んでいただきました。

また、6地域の有功会(奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、宇陀地区、橿原市、生駒市)においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

- (1) 全国赤十字大会に参会しました。(5月17・18日:東京都明治神宮会館)
- (2) 国内義援金及び海外救援金として130,000円(各10,000円)を送金しました。  

令和5年5月能登地方地震災害義援金、令和5年台風第2号等大雨災害義援金、 令和5年6月30日からの大雨災害義援金、令和5年7月7日からの大雨災害義援金、 令和5年台風第6号災害義援金、令和5年台風第13号災害義援金、令和6年能登半島地震災害義援金 2023年アメリカ・ハワイ火災救援金、2023年モロッコ地震救援金、2023年リビア洪水救援金、 2023年アフガニスタン地震救援金、イスラエル・ガザ人道危機救援金、NHK海外たすけあい (13件)
---
- (3) 本社の国際活動資金に協力しました。(バングラデシュ保健医療支援事業)
- (4) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい運動月間、救急の日、年賀、はたちの献血キャンペーンに、新聞広告を掲載しました。

### (5) 総会、会議等

月日	名称	場所	内容
4月5日	橿原市総会	橿原市	令和4年度事業報告、収支決算 令和5年度事業計画(案)、予算(案)、役員改選
5月12日	生駒市総会	生駒市	令和4年度事業報告、収支決算 令和5年度事業計画(案)、予算(案)、ビデオ視聴
6月22日	奈良市都祁総会	奈良市都祁	令和4年度事業報告、収支決算 令和5年度事業計画(案)、予算(案)、ビデオ視聴
9月4日	第57回総会	奈良市	令和4年度事業報告、決算報告 令和5年度事業計画(案)、予算(案)
10月	6日	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	役員改選、令和4年度決算報告、令和5年度収支中間報告 各支部紺綬・有功会活動状況報告
	24日	大和郡山市総会	令和4年度事業報告、決算報告 令和5年度事業計画(案)、予算(案)役員改選 講習「災害への備え」
12月14日	連絡協議会	奈良市	役員改選 令和4年度決算報告 令和5年度地区有功会活動状況、会計収支状況
R6 3月	29日	令和5年度理事会	令和6年度事業計画(案)、予算(案)、総会開催(案) 令和5年度事業報告、収支状況 令和6年度有功章会員等の増強について



▲全国赤十字大会参会



▲総会



▲日赤紺綬・有功会会長協議会総会

# 令和5年度 一般会計決算報告

## 1 令和5年度 一般会計決算

(収 入)						(単位：円)	
区 分	令和5年度 予算現額	令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	前年度増減	付 記		
1 会費収入	168,350,000	149,695,022	151,690,470	△ 1,995,448	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金		
2 補助金及び 交付金収入	3,972,000	3,269,250	4,122,219	△ 852,969	本社からの交付金		
3 繰入金収入	32,900,000	18,825,000	17,438,234	1,386,766	災害等資金繰入 国際救護活動資金繰入(個人住民税対象海外救援金)		
4 資産収入	100,000	1,714,070	790,090	923,980	支部災害救援車売却		
5 雑収入	4,928,000	3,900,254	3,025,620	874,634	講師派遣収入、講習用教材費収入等		
6 前年度繰越金	25,000,000	32,607,647	57,577,145	△ 24,969,498	前年度繰越金		
収 入 合 計	235,250,000	210,011,243	234,643,778	△ 24,632,535			
(支 出)						(単位：円)	
区 分	令和5年度 予算現額	令和5年度 決算額	令和4年度 決算額	前年度増減	付 記		
1 災害救護 事業費	71,000,000	41,360,285	54,557,694	△ 13,197,409	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等		
2 社会活動費	40,000,000	23,920,209	26,558,631	△ 2,638,422	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費		
3 国際活動費	2,000,000	1,889,509	7,987,718	△ 6,098,209	バングラデシュ保健医療支援事業 国際救援事業(個人住民税対象海外救援金)		
4 指定事業 地方振興費	3,900,000	3,825,000	11,938,234	△ 8,113,234	災害救護資機材整備費 国際活動基金積立(個人住民税対象海外救援金)		
5 地区分区 交付金支出	16,800,000	9,520,154	9,892,382	△ 372,228	地区分区(市町村)における赤十字活動費		
6 社業振興費	37,000,000	33,542,484	29,878,597	3,663,887	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費		
7 基盤整備交付 金・補助金支出	450,000	450,000	280,000	170,000	血液センター施設整備費		
8 積立金支出	5,700,000	5,073,408	15,272,662	△ 10,199,254	退職給与資金特別会計積立金		
9 総務管理費	30,000,000	26,379,031	24,034,921	2,344,110	支部の事業管理運営費		
10 資産取得及び 資産管理費	1,550,000	1,114,588	1,122,457	△ 7,869	施設管理費		
11 本社送納金支出	23,850,000	21,130,503	20,512,835	617,668	本社への送納金		
12 予備費	3,000,000	0	0	0	その他		
支 出 合 計	235,250,000	168,205,171	202,036,131	△ 33,830,960			
次年度繰越金		41,806,072円					

## 2 令和5年度 会費収入

(単位:千円)

区分	R1	R2	R3	R4	R5
一般会費	118,789	139,707	143,606	135,653	129,608
うち地区・分区	78,892	75,549	75,439	73,711	70,786
うち有功会勸奨等	39,880	64,158	67,852	55,004	57,997
うち住民税控除対象の海外救援金*	17	0	315	6,938	825
法人会費	243,046	19,841	19,178	16,037	20,087
計	361,835	159,548	162,784	151,690	149,695

※個人住民税控除対象の海外救援金

R1 年度 :モザンビークサイクロン救援金

R3 年度 :ハイチ地震救援金

R4 年度 :アフガニスタン地震救援金、パキスタン洪水救援金、トルコ・シリア地震救援金

R5 年度 :アフガニスタン地震救援金、トルコ・シリア地震救援金、リビア洪水救援金

### (1)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議案
令和5年6月13日	支部	(1)支部役員の選出 (2)令和4年度支部事業報告及び収支決算報告 (2)令和4年度血液事業報告
令和6年2月9日	支部	(1)監査委員の任期満了に伴う選出 (2)令和6年度支部事業計画及び収支予算 (3)令和6年度血液事業計画

### (2)監査報告

令和4年度事業・決算について、監査法人による外部監査を受けました。また、監査委員監査にて、支部監査委員2名の監査を受けました。



▲支部評議員会



▲監査委員監査

## 参 考 資 料

### 1 令和5年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分	令和5年度		令和4年度		前年度対比	
	実績額(円)	前年比	実績額(円)	前年比		
奈良市	10,833,677	89.2%	12,143,971	94.9%	△ 1,310,294	
大和高田市	3,429,118	99.1%	3,461,519	105.3%	△ 32,401	
大和郡山市	5,658,326	98.5%	5,746,754	95.8%	△ 88,428	
天理市	2,685,400	97.4%	2,757,550	103.0%	△ 72,150	
橿原市	5,894,657	96.5%	6,105,454	94.4%	△ 210,797	
桜井市	1,875,911	95.0%	1,975,007	95.4%	△ 99,096	
五條市	1,969,600	87.4%	2,254,400	100.3%	△ 284,800	
御所市	1,887,400	100.9%	1,870,367	95.8%	17,033	
生駒市	6,687,035	103.3%	6,473,891	97.6%	213,144	
香芝市	2,845,000	100.0%	2,845,000	100.0%	0	
葛城市	2,640,800	96.3%	2,743,530	98.1%	△ 102,730	
宇陀市	2,242,900	92.9%	2,413,380	100.3%	△ 170,480	
一般 会費	市地区計	48,649,824	95.8%	50,790,823	97.3%	△ 2,140,999
	山辺郡	479,400	99.0%	484,100	99.7%	△ 4,700
	生駒郡	3,988,122	91.3%	4,367,069	96.4%	△ 378,947
	磯城郡	3,990,652	99.1%	4,028,767	99.6%	△ 38,115
	宇陀郡	489,100	91.9%	532,000	97.8%	△ 42,900
	高市郡	1,751,195	99.7%	1,757,092	99.8%	△ 5,897
	北葛城郡	6,559,552	96.6%	6,787,460	98.7%	△ 227,908
	吉野郡	4,401,393	98.7%	4,460,098	98.6%	△ 58,705
	吉野西	476,570	94.7%	503,200	101.1%	△ 26,630
	郡地区計	22,135,984	96.6%	22,919,786	98.5%	△ 783,802
	地区分区扱計	70,785,808	96.0%	73,710,609	97.7%	△ 2,924,801
	支部扱計	57,997,610	105.4%	55,003,962	81.1%	2,993,648
	※海外救援金計	825,000		6,938,234		△ 6,113,234
	一般社資合計	129,608,418	95.5%	135,652,805	94.5%	△ 6,044,387
	法人会費合計	20,086,604	125.2%	16,037,665	83.6%	4,048,939
	会費合計	149,695,022	98.7%	151,690,470	93.2%	△ 1,995,448

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。

令和5年度 火災・水害等による救援物資配付・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況

地区・分区名	救援物資									弔慰金 (件数)	付添・臨時救護 (看護師)	
	世帯	人数	毛布	布団	バスタオル	緊急セット	安眠セット	フルシート	タオルケット		回数	人数
奈良市	4	9	13	4	6	4	0	1	0	1	4	5
大和高田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大和郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
天理市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
橿原市	2	9	8	9	9	4	0	0	0	0	0	0
桜井市	2	3	1	3	3	3	0	0	1	0	0	0
五條市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
御所市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生駒市	2	5	0	5	5	0	0	0	7	0	0	0
香芝市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
葛城市	1	3	0	3	3	1	0	1	3	1	0	0
宇陀市	4	9	8	5	6	4	0	1	0	1	0	0
市地区計	15	38	30	29	32	16	0	3	11	5	10	11
山辺郡山添村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生駒郡	平群町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三郷町	1	3	0	3	0	0	0	0	1	0	0
	斑鳩町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	安堵町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	3	0	3	0	0	0	0	0	1	0
磯城郡	川西町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	三宅町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田原本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇陀郡	曾爾村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御杖村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高市郡	高取町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	明日香村	1	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0
	計	1	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0
北葛城郡	上牧町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	王寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	広陵町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	4
	河合町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8
吉野郡	吉野町	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1
	大淀町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下市町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	黒滝村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	天川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	下北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上北山村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	川上村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東吉野村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	1	0	0	0	1	0	1
吉野西	野迫川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	十津川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	2	4	0	0	1	0	0	0	0	5	11
県											15	38
合計	19	46	37	33	33	18	0	3	12	8	39	70

令和5年度 市町村別講習一覽

	救急法						水上安全法				健康生活支援講習						幼児安全法			
	基礎		養成		短期		養成		短期		養成		短期		災害時高齢者支援		養成		短期	
	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生
奈良市	5	42	5	57	44	1,319			7	416	1	34			9	167	1	8	16	204
大和高田市					4	104							1	16	1	30				
大和郡山市					6	210													3	58
天理市					3	91			1	10			1	85	1	15			3	41
橿原市					6	121			2	44			3	43	1	250			4	178
桜井市					1	18														
五條市					2	68														
御所市															1	11				
生駒市					8	243			3	347					2	51			3	71
香芝市																			1	31
葛城市									1	27			1	25						
宇陀市					5	85			2	40			1	9						
市地区計	5	42	5	57	79	2,259	0	0	16	884	1	34	7	178	15	524	1	8	30	583
山辺郡山添村																				
生駒郡	平群町				5	107							1	33	1	27				
	三郷町	1	11		3	73			1	111									5	65
	斑鳩町								1	28					1	20			1	11
	安堵町	1	9		1	19														
	計	2	20	0	0	9	199	0	0	2	139	0	0	1	33	2	47	0	0	6
磯城郡	川西町														1	25				
	三宅町				2	41			1	60										
	田原本町				1	39			2	154			1	40					1	14
	計	0	0	0	0	3	80	0	0	3	214	0	0	1	40	1	25	0	0	1
宇陀郡	曾爾村																			
	御杖村																			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高市郡	高取町																			
	明日香村												2	71					1	6
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	71	0	0	0	0	1	6
北葛城郡	上牧町				1	10							1	30						
	王寺町																			
	広陵町				1	15			1	28			2	29	1	15				
	河合町				2	30														
	計	0	0	0	0	4	55	0	0	1	28	0	0	3	59	1	15	0	0	0
吉野郡	吉野町				3	85														
	大淀町								1	71					1	19				
	下市町								1	19										
	黒滝村																			
	天川村																			
	下北山村				2	20														
	上北山村																			
	川上村																			
	東吉野村																			
計	0	0	0	0	5	105	0	0	2	90	0	0	0	0	1	19	0	0	0	0
吉野西	野迫川村																			
	十津川村														1	14				
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0
郡地区計	2	20	0	0	21	439	0	0	8	471	0	0	7	203	6	120	0	0	8	96
県主催	3	74	2	52					1	18										
その他					4	130														
支部	7	88	4	68	1	12	1	14			1	5			1	9	3	50		
合計	17	224	11	177	105	2,840	1	14	25	1,373	2	39	14	381	22	653	4	58	38	679